

# 花 信

*Kashin : The Shinshu University Library Bulletin*

第7号 2000.3

## 目 次

キャンパス分散型大学の図書館 .....	1	お知らせ .....	7
ネットワーク型図書館構築のために .....	2	(図書館ニュース発行)	
今すぐ読めます		(本学関係者著作寄贈図書)	
電子ジャーナルへのお誘い .....	4	分館の現況(教育学部分館) .....	9
購入雑誌の重複解消について .....	6	業務日誌 .....	10
図書館講演会について .....	7	人事異動 .....	11
		新入生のみなさんへ .....	12

## キャンパス分散型大学の図書館

繊維学部分館長 中 沢 賢

A 新聞社が発行している「大学ランキング」には図書館のランキングも載っており、時節柄気にかかる。こうした種類の評価が妥当なものかどうかは大いに議論の余地のあるところであるが、改善の参考にはなろう。学生1人あたりの蔵書冊数、雑誌種類数、年間の受け入れ冊数、貸し出し冊数、図書館費の5項目による総合評価では、信州大学は全国の大学の中で100位にも入らない。

平成10年に刊行された信州大学附属図書館自己点検・評価報告書には、全教官を対象に実施されたアンケート調査が掲載されているが、その中に上記ランキングに対する感想が自由記述の形で載せられている。それによると、本学附属図書館の評価が低いのは当然とするコメントが88件中39件あり、低い評価の要因として、コメント125件中の46件が所蔵資料が古く少ないことを挙げ、財政面についてのコメント65件の内、41件が図書予算の増額を図るべきであるとする意見である。これを見る限りでは、我々の大多数は信州大学の図書館が不満足な状態であると認識しており、その改善を望んでいると受け取れる。

しかし現実には改革はなかなか進まない。その基本的な原因として、まず本学が各地に分散する多様な学部から構成されていることが挙げられる。それぞれの学部により図書館に対する位置づけや期待が異なり、さらに学部相互の調整の機会も少ないことから、何ごとにつけ全学の合意に達することは容易ではない。財政面から見ると、現在の本学の図書予算の仕組みでは、大学全体とい

う観点から施策を進めることがきわめて困難である。図書利用の面では、本学が典型的なキャンパス分散型大学であるため、図書も各地各学部に分散しており、他館の資料の利用にはきわめて不便である。勢い手近かで直ちに利用できる図書をそれぞれの分館で他と重複を承知で用意しなければならず、大学全体として見ると対予算効率が悪くなり、改善を遅らせている。

21世紀に向けて社会のあらゆる仕組みが変革を迫られており、大学附属図書館もその埒外にはない。今後ますます社会的な要請として研究の高度化と教育機能の強化が求められるであろう現実を思うと、大学図書館の機能強化は緊急の課題である。特に学生に自律学習を促しそれを支援する図書館の学習機能の強化は、大学全体で取り組むべき重要課題である。

学部数が多く、キャンパスが各地分散型である本学の特質に配慮して改善を進めるには、電子メディアをフルに活用した先導的なネットワーク型の図書館の構築を目指すのが良策と考える。雑誌の電子ジャーナル化や2次文献データベースの多様化・充実の急速な進行を考えると早急の対応が望まれる。幸いこの度、図書館運営委員会は将来を展望する「ネットワーク型図書館の基本構想」を打ち出した。こうした構想が単なる絵に描いた餅に終わるか、真に有効なものに発展するかは、我々が将来に対しどれほどの危機意識と改革意欲を持っているかにかかっている。

(なかざわ まさる)

# ネットワーク型図書館構築のために

図書館が利用者のためのサービス機関であることはつとに言われていることで、いずれの大学図書館においてもサービス向上に努力を傾注していると思われまふ。本学附属図書館においても、平成6年の「附属図書館の将来像並びに組織運営のあり方について」、平成11年の「信州大学における電子図書館機能の充実・強化へ向けての実施計画」等によりサービス向上のプランを策定し微力ながら改革の道を模索してきました。

これらの試みの延長線上に、図書館改革の現在のな方向性を「ネットワーク型図書館の構築」と見定め、近々の重要課題と位置づけております。

以下に附属図書館運営委員会で承認された本文を掲載し、全学の皆様のご理解とご協力をいただきたいと考えます。

附属図書館長 野村 俊明

## ネットワーク型図書館の構築

本学ではトラフィック容量強化が課題ではあるが情報通信のネットワークはできている。したがって、中央図書館および分館はさらにネットワークによる相互協力体制を強化し、次のように機能することにより、地域分散型総合大学である信州大学にふさわしい附属図書館を構築する。

### 1. 各館は主題別に専門化

#### (1) 専門参考調査機能の高度化

中央図書館への一極集中でなく、各館が学部と地域の特徴を生かした専門図書館としてレファレンス機能を高度化することにより、信州大学の総合的な情報提供能力を強化する。これにより、本学の学生及び教職員はもとより、地域住民等から信州大学に期待されているところの専門的な学術情報の提供を進展させることができ、地域にも開かれた情報センターとして対応できるようになる。

#### (対 応)

専門参考図書等の整備（電子体を含む）

→ 整備すべき資料の選定。（収書委員会の活性化）

電子図書館機能の充実・強化

→ 目録情報の遡及入力、CD-ROM等の整備を促進する。

レファレンスの図書館間相互支援体制

→ 職員研修、図書館専門員の配置を行う。

広報、ガイダンスの活性化

→ 実績の積み上げによる利用者への周知を図る。

→ 地域の図書館との相互協力を推進する。

→ 各館備付の参考図書及びレファレンス事例等をホームページ上で紹介する。

→ テーマ別の文献案内を作成する。

#### (2) 学習図書館機能の整備

現在取り組まれている大学改革において、教育方法の改善に対応した学生の自習環境を整備することの一環として、附属図書館各館の学習図書館機能は重要である。したがって、各館は直接サービス対象とする学部等に在籍する学生等が学修するに足る図書資料を備え、また保健衛生的、災害予防的観点から閲覧環境等の施設整備を行う必要がある。

## （対 応）

各図書館備え付け学生用図書等のあり方について方針を定める

➡ 収書委員会を活性化する。

学生用図書等の充実

➡ 所要経費の確保を図る。

各館の施設整備

➡ 分館では所属学部と協議のうえ、附属図書館全体が整合された計画を策定するものとする  
（附属図書館の一体性を推進する）。

## 2. 中央図書館の本部機能を強化

現在のところ中央図書館では分館の状況把握が不足しているため、分館に対する中央図書館の適切な支援が充分には行われていないことから、中央図書館は附属図書館全体の企画、調整、渉外、情報収集機能等の本部機能を強化する必要がある。

## （対 応）

図書館長と分館長との緊密な連携

➡ 館長分館長会議による執行部の意思疎通を図る。

事務部の相互理解

➡ 意思疎通、連絡・報告体制を整備する。

経営改善に役立つ統計の採取

➡ 諸統計を見なおす（点検評価とも関連）。

各館横断的事業計画の協議

➡ 学部事務部との連携を強化する。

附属図書館全体予算の確保

➡ 学内共通の経費の検討を提案する。本学の必要性に基づく基本的資料及び設備の整備等の経費は、各館に分散配置するものであっても、全学的視点から予算を措置する必要がある。

学内文献デリバリの改善

➡ 学内物流体制を構築する。

## 3. 中央図書館の特性に合致した運営

中央図書館は本学における附属図書館の本部であるとともに、旭キャンパスの図書館であり、直接的には医学部及び医療技術短期大学部を除く旭キャンパスの部局等へのサービスを担当しているが、運営機構がこれに合致していないことから問題が生じており、改善を図る必要がある。

## （対 応）

図書館運営委員会の審議事項を見なおし、事項に即した協議の場を設置する。

(1) 中央図書館の直接対象学部と関係する事項

➡ 人文、経済、理学部との協議の場。共通教育に関しては、全学部に係るため図書館運営委員会が担当。

(2) 旭キャンパス共通の事項

➡ 上記に医学部及び医療技術短期大学部が参加する場。

(3) 本学附属図書館全体にかかる協議事項

➡ 図書館運営委員会（現行）

なお、図書館運営委員会は附属図書館の改革にともなって構成員を再検討する必要がある。

例、総合情報処理センター、留学生センター、共通教育センター等の参加。

# 今すぐ読めます

## ➡ 電子ジャーナルへのお誘い

ここ最近、従来の印刷版の購読契約に付随する形で、ネットワークを通じて提供する雑誌が急激に増えています。内容としては、契約の有無に関わらず無料でインターネット上の出版社やサービス機関のサイトから利用できるもの(多くは目次・抄録)から、フルテキスト(多くは購読契約タイトル)を入手できるものまで様々な形態があります。

図書館では、これらの電子ジャーナルを有効利用するために、できる限りホームページに載せてお知らせしています。

詳しくは附属図書館ホームページ(<http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/>)をご覧ください。また、各分館・室で公開しているタイトルへのアクセスは、各ホームページへリンクしてご覧ください。ただし、これらについては契約上の制約から利用が部局内などに制限されているものもありますのでご注意ください。

論文を表示・印刷するために、一般的にはPDF形式が使われています。

WebブラウザとAcrobat Readerがインストールされていれば、ほとんどの電子ジャーナルにアクセスして印刷形式と同様のレイアウトで出力することができます。なお、Acrobat Readerは、Adobe社のホームページから無料でダウンロードできます。

新しいタイトルなどが随時加わっておりますので、図書館のホームページをご覧になる際は、「電子ジャーナル」を是非クリックしてみてください。利用の詳細は「電子ジャーナルリスト(学内用)」

(<http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/gakunai/ejzajo.html>)を参照ください。

以下に3月9日現在で利用可能なタイトル(無料)をお知らせします。

Archive for Rational Mechanics and Analysis  
 The Astrophysical Journal and Astrophysical Journals Supplement Series  
 Biometrika  
 Bulletin of London Mathematical Society  
 Bulletin of the American Mathematical Society  
 Cambridge Journal of Economics  
 Chemical Communications (1999 )  
 Chemical Society Reviews (1999 )  
 Communications in Mathematical Physics  
 Contributions to Mineralogy and Petrology  
 Dalton Transactions (1999 )  
 Economica  
 The Economic Journal  
 Ergodic Theory and Dynamical Systems  
 European Physical Journal C (EPJC)  
 Genetics  
 The Historical Journal  
 International Journal of Urban and Regional Research  
 Inventiones mathematicae  
 The Japanese Economic Review  
 Journal of African History

Journal of Business Finance & Accounting  
Journal of Chemical Research  
Journal of Economic and social geology  
Journal of Evolutionary Economics  
Journal of Linguistics  
Journal of Materials Chemistry ( 1999 )  
Journal of Mathematical Biology  
The Journal of Mathematical Physics  
Journal of Nonlinear Science  
The Journal of Petrology  
Journal of Physics A : Mathematical and General  
Journal of Physics : Condensed Matter  
Journal of the London Mathematical Society  
Manuscripta Mathematica  
Mathematical Proceedings of Cambridge Philosophical Society  
Mathematische Annalen  
Mind  
Nature 最新号の全文を利用できます  
Nature Biotechnology ( 2000年5月まで )  
Nature Cell Biology ( 2000年5月まで )  
Nature Genetics ( 2000年5月まで )  
Nature Medicine ( 2000年5月まで )  
Nature Neuroscience ( 2000年5月まで )  
Nature Structural Biology ( 2000年5月まで )  
Oecologia  
Oxford Economic Papers  
Perkin Transactions 1 ( 1999 )  
Perkin Transactions 2 ( 1999 )  
Physical Chemistry Chemical Physics ( 1999 )  
Physical Review A  
Physical Review B  
Physical Review C  
Physical Review D  
Physical Review E  
Physical Review Letters  
Physics and Chemistry of Minerals  
Proceedings of American Mathematical Society  
Proceedings of the Aristotelian Society  
The Quarterly Journal of Mathematics  
The Scandinavian Journal of Economics  
SIAM Journal on Mathematical Analysis ( SIMA )  
Transactions of American Mathematical Society  
World Englishers  
情報管理

( 資料サービス係 )

## 購入雑誌の重複解消について

現在、信州大学において重複して購入されている雑誌は、外国雑誌だけでも240タイトル以上、金額にして約4500万円で購入金額の28%にもなっています。

附属図書館では、教官各位に外国雑誌の重複購入の実状をお知らせするとともに、以下の調整方法を提示し、重複雑誌の解消にご協力いただくようお願いしています。

### 1. 本学雑誌購入の実状（重複状況）

附属図書館ホームページ「信州大学附属図書館購入外国雑誌一覧」をご覧ください。

### 2. 手 順

- (1) 「信州大学附属図書館購入外国雑誌一覧」で重複状況を確認し、ご検討いただける場合は、所属の館室に4月末日までに詳細情報をお問い合わせください。（情報の提供依頼があった雑誌について、折り返し附属図書館各館室から価格・利用条件などの詳細情報を調査し回答します。）
- (2) 詳細情報に基づき購入者同士で協議いただき、結果を5月末日までに附属図書館各館室に報告してください。

### 3. 対 応（調整方法）

#### (1) 経 費

冊子体（1部）と電子体のセット契約とし、契約金額に諸経費\*を加算した金額を購入者で按分して負担していただきます。

$$\text{各購入者の分担額} = \frac{((A + B) + ((A \times C) - (A + B)) \times 0.1)}{C}$$

A：冊子体1部の契約価格

B：電子体契約価格または電子体割増価格

C：2001年の冊子購入希望部数（購入者数）

\* 諸経費は、冊子体購入価格とセット購入価格の差額の10%とする。

#### (2) 冊子体

冊子体はより利用が多いと想定される図書館に配架し、購入者は通常オンラインによる電子ジャーナルを利用してください。

### 4. 次のような効果が期待できます。

- ア．電子体分の価格は概ね冊子体雑誌よりも廉価のため、雑誌購入費を軽減できることにより別の雑誌を購入できる。
- イ．新たな経費負担がなくてもオンラインジャーナルが利用できる。
- ウ．冊子体を一部購入保存することにより、電子体の将来に対する不安に対処できる。
- エ．冊子体雑誌の収納スペースを軽減できる（研究室等スペースの軽減）。
- オ．冊子体雑誌を図書館に配架することにより、共同利用の条件が改善される。
- カ．冊子体雑誌のコピー依頼への対応等が容易になる。

# 平成11年度信州大学図書館講演会について

平成11年11月及び平成12年2月に附属図書館主催の図書館講演会が実施され、両講演会とも公共図書館を含む学内外の多数の参加者をえて、好評をもって終了しました。

以下にその概要をお知らせします。

## < 第1回 >

テ - マ：これからの電子図書館  
 講 師：光華女子大学 谷口 敏夫 氏  
 日 時：平成11年11月26日（金）午後2時～5時  
 講演会場：信州大学附属図書館会議室  
 講演要旨：人は風のそよぎや日差しの変化にも心を動かされる。電子図書館は斯様な生命体の知恵や心を大切に扱う環境となるべきである。  
 私は、コンピュータとネットワークと司書（電子司書）を基にする鼎立システムとしての電子図書館は、技術の果ての、文化であると考えている。

## < 第2回 >

テ - マ：大学図書館と公共図書館における図書館職員の職務のあり方  
 - 社会の変化や新しい情報環境に対応するために -  
 講 師：図書館情報大学 大庭 一郎 氏  
 日 時：平成12年2月22日（水）午後2時～5時  
 講演会場：信州大学SUNS会議室(松本会場、西長野会場、若里会場、南箕輪会場、常田会場)  
 講演要旨：現代の図書館は、社会状況の変化や新しい情報環境に適切に対応し、優れた情報サービスを提供することが求められており、図書館職員の職務のあり方が今まで以上に重要になってきている。この講演では、米国の図書館職員の動向を踏まえながら、日本の大学図書館と公共図書館における図書館職員の職務のあり方を考察する。

# お 知 ら せ

## 「図書館ニュース」の発行

中央図書館では、平成12年2月から、利用者サービスを中心とした図書館の最新トピックを、出来るだけ速やかに且つ定期的に学内の教職員・学生の皆様へアナウンスするため、「図書館ニュース」を発行しております。刊行頻度は、原則として隔月刊です。

記事は、開館予定の案内、臨時休館の案内、利用時間の変更案内、ガイダンスの実施案内、CD-ROMデータベースの案内、電子ジャーナルの案内等を中心にタイムリーな話題を提供していきたいと考えています。この「花信」は附属図書館全体の図書館報ですが、これとは別の速報性を重視したものと位置づけています。ご愛読願います。

なお、医学部分館が発行している「医学部分館ニュース」、繊維学部分館が発行している「Library」も併せてご愛読願います。

## 本学関係者著作寄贈図書一覧

(平成11年9月～平成12年1月)

ここには本学関係者が著作・編集・刊行等に関係した図書で、図書館に寄贈された分を掲載しています。御寄贈ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

書名	発行者	出版年	寄贈者	所属
<b>* 中央館</b>				
読書論・読者論の地平	若草書房	1999	和田 敦彦	人文学部
碌山と信州の美術	(株)郷土出版社	1999	仁科 惇	元繊維学部
宮廷の文人たち	リーベル出版	1997	成沢和子	医療技術短大
債権総論	青林書院	1999	後藤泰一	経済学部
わかる・みつかる・できる	(財)内外学生センター	1999	平野吉直	教育学部
自然体験活動の方法	(財)日本教育科学研究所	1999	平野吉直	教育学部
<b>* 教育学部分館</b>				
新拾遺集総索引	明治書院	1999	滝沢貞夫	教育学部
王朝和歌と歌謡	笠間書院	2000	滝沢貞夫	教育学部
死と豊穡の民俗文化	吉川弘文館	2000	藤森裕治	教育学部
信州大学教育学部五十年史	信州大学教育学部創立50周年記念事業実施委員会	1999	(発行者)	教育学部
わかる・みつかる・できる	(財)内外学生センター	1999	平野吉直	教育学部
自然体験活動の方法	(財)日本教育科学研究所	1999	平野吉直	教育学部
<b>* 工学部分館</b>				
Nagano magel'99: the second Magneto-Electronics International Symposium : Mielparque, Nagano October 20-22, 1999 : proceedings	Shinshu University	1999	松本光功	工学部
<b>* 農学部分館</b>				
資源とリサイクル	柏樹社	1998	酒井信一	名誉教授
<b>* 繊維学部分館</b>				
碌山と信州の美術	(株)郷土出版社	1999	仁科 惇	元繊維学部
<b>* 医療技術短期大学部図書室</b>				
新作業療法の源流	三輪書店	1991	富岡詔子	医療技術短大
母性看護学	日総研	1997	大久保功子	医療技術短大

# 分館の現況

## 教育学部分館

平成11年度に教育学部分館では広報紙の発行を試みました。A4の大きさで、カラー用紙に両面刷りです。紙名は「教育学部分館ホームページ紙上版」です。

当初の計画は次のとおりでした。発行は毎月。掲載内容は、利用案内、教官へのお知らせ、学生へのお知らせ その他とする。利用案内はオリエンテーションに準じる内容を1項目ずつ説明してゆく。教官へのお知らせは、図書点検、外国雑誌予約調査等の事務的な連絡や電子ジャーナルの利用等を案内する。学生へのお知らせは長期貸出や返却督促等についてです。その他は、開館予定日、行事、利用統計、資料配置の変更案内等です。

実際に発行した年月日と主な見出しは、次のとおりです。

- |               |  |
|---------------|--|
| 平成11年4月5日発行   | 土曜日も開館します / 忘れないで / 春季休業中貸出図書の返却期限は4月16日です / 2年次生への図書館利用案内について / 情報検索用端末を増設 / 文献複写・現物貸借の申込は早め早めに / 寄贈資料の紹介 / 平成11年度図書館スタッフ |
| 平成11年4月12日発行  | 電子ジャーナル無料トライアルの利用について  |
| 平成11年5月6日発行   | CD-ROM ネットワークシステムのサーバが変わりました / ERIC on CD-ROM / 連休明けの返却期限日を忘れないで！ / 他大学への文献複写現物貸借申込書を出す前に / 研究室図書の整理と返却のお願い                |
| 平成11年6月7日発行   | 教育用パソコンが設置されました / 好評実施中 情報検索オリエンテーション / 書架の見方 / 豆知識 論理演算   |
| 平成11年7月5日発行   | 図書の貸出が夏季休業中をはさむ長期貸出になります / 夏季休業中も開館します / 書庫案内  |
| 平成11年10月13日発行 | 返却期限を守ろう！ / 貸出状況 / Science Direct の無料トライアル   |
| 平成11年11月15日発行 | 新着寄贈資料で最近の話題と情報を / 未返却図書の督促にはこんなに費用（税金）がかかります / 「学術雑誌総合目録データベース」（和文編）の更新作業を全国の国立大学等で実施します。                                 |
| 平成12年1月17日発行  | 図書の貸出が春季休業中長期貸出になります / 卒業生への最終貸出日および最終返却期限日は2月9日です / 紹介 学生用図書はこんな手順で購入・配架されます / 一言（ひとこと）書評投稿募集                             |

配布は全教官と館内です。先生方には読んだ後、研究室に所属する学生にまわしてもらうようお願いしています。館内配布は入口に置く他に、閲覧机の上に座席の数だけ10日間ほど配っておきます。その他学生用掲示板等に掲示します。

利用者（学生）にどのくらい周知できているか、心配なところがないわけではありません。配布方法の改善はもちろん、どのように内容を充実させ利用者に広報するか、今後の検討課題です。

すでに「花信」、「図書館ニュース」（中央館）、「Library」（繊維学部分館）、「医学部分館ニュース」があります。これらを目標として、「はいまつ：教育学部分館だより」（12 1996. 3で休刊となっている）の復刊にむけて実績と実力をつけてゆきたいものと考えてます。

## 業務日誌

平成11年

- 9月24日 図書館情報システム [ NEC ] デモ（中央館会議室）
- 9月30日 館長・分館長懇談会（中央館会議室）
- 10月1日 サイエンス ディレクター21 [ エルゼビア ] 説明会（中央館会議室）
- 10月13 - 15日 平成11年度第4回目録システム講習会（雑誌コース）  
（学術情報センター / 医学情報係：田村）
- 10月15日 附属図書館運営委員会（平成11年度第2回 SUNS 使用）
- 10月15日 第49回長野県図書館大会（南木曾町 / 雑誌情報係：原山）
- 10月18 - 22日 平成11年度実用英会話研修（あづみ荘 / 図書情報係：川西、工学情報係：瀬尾）
- 10月20 - 21日 学術情報センター主催平成11年度第4回  
「図書館情報サービスにおける国際協力活動に関するワークショップ」  
（軽井沢セミナーハウス / 情報サービス課長）
- 10月21 - 22日 平成11年度北信越地区国立大学図書館研修会  
（富山大 / 資料サービス係：丸山、医学情報係：岡）
- 10月27 - 29日 平成11年度関東甲信越静地区著作権セミナー（藤沢市 / 資料サービス係：桃井）
- 11月2日 平成11年度学術情報センターシンポジウム（東京都 / 学術情報係：淵井）
- 11月5日 学術雑誌総合目録和文編2000年版データ作成説明会（東京大 / 雑誌情報係：城倉）
- 11年9日 次世代電子図書館システム研究開発事業実証実験プロトタイプシステム  
[ 日本情報処理開発協会 ] 利用説明会  
（実験参加者 中央館2名 分館2名）  
文献画像伝送システム [ 丸善 ] 説明会（中央館会議室 / 学術情報係）  
学術雑誌総合目録和文編2000年版データ作成説明会 [ 分館室対象 ]  
（中央館会議室 / 雑誌情報係）
- 11月15 - 16日 平成11年度第2回NACSIS - IRデータベース実務研修  
（学術情報センター / 雑誌情報係：城倉）
- 11月15 - 18日 平成11年度大学図書館職員講習会  
（東京大 / 図書情報係：大内、教育学情報係：春原、工学情報係：瀬尾）
- 11月18 - 19日 平成11年度北信越地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議  
（福井市 / 事務部長、情報管理課長）
- 11月26日 平成11年度第1回附属図書館講演会：テーマ「これからの電子図書館」  
講師：光華女子大学文学部 谷口敏夫氏

平成11年 \_\_\_\_\_

- 12月2日 館長・分館長懇談会（中央館会議室）
- 12月8 - 9日 第12回国立大学図書館協議会シンポジウム（横国大／情報管理課：金井）
- 12月13日 人文・経済・理学部運営委員会懇談会（中央館会議室）
- 12月13 - 15日 平成11年度信州大学会計事務総合基礎研修  
（あづみ荘／雑誌情報係：城倉、教育学情報係：上原）
- 12月14日 全学図書関係係長会議（平成11年度第2回）
- 12月21日 附属図書館運営委員会（平成11年度第3回 SUNS 使用）

平成12年 \_\_\_\_\_

- 1月18日 図書館情報システム [ NTTデータ ] デモ（中央館会議室）
- 1月20日 平成11年度国立大学附属図書館事務部長会議（群馬大学／事務部長）
- 1月21日 平成11年度第3回次期システム検討ワーキンググループ会議（中央館会議室）
- 2月17日 館長・分館長懇談会（中央館会議室）
- 2月22日 平成11年度第2回附属図書館講演会：テーマ「大学図書館と公共図書館における図書館職員の職務のあり方 - 社会の変化や新しい情報環境に対応するために - 」  
講師：図書情報大学 大庭一郎 氏



## 人 事 異 動

日付	事項	新官職名等	氏名	旧官職名等
11.10.1	転入	農学情報係	矢島 早百合	農学部学務係
11.4.1	採用	繊維学情報係事務補佐員	宮下 綾	
	採用	繊維学情報係事務補佐員	田中 豊實	[時間外勤務]

備考 11.4.1付分は第6号（前号）掲載以外です。

## 新入生の皆さんへ

～ 図書館の利用について ～

中央図書館では毎年4月に新入生のための図書館ガイダンスを行っています。今年も4月10日～11日の2日間(希望が多い場合は12日も実施)ガイダンスを予定しています。

以下に、図書館ガイダンスのお知らせと中央図書館の利用について、簡単にご案内いたします。詳しい利用方法は図書館の利用案内または中央図書館ホームページでご覧いただけます。

URL:<http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/chuo/index.html>

### 新入生図書館ガイダンスのお知らせ

日 時：平成12年4月10日(日)・11日(月)  
 時 間：1日3回  
       (1回目10:00～11:00)  
       (2回目13:00～14:00)  
       (3回目15:00～16:00)

場 所：中央図書館  
 人 数：1回40名程度  
 内 容：1.ビデオ上映  
       2.図書館利用の仕方(説明)  
       3.パソコンを使った情報検索の実習

### 中央図書館の利用案内

#### …開館時間

月～金曜日 9:00～20:00  
 土～日曜日 10:00～16:00

\*長期休業中は、月～金曜日は17時まで

#### …休館日

国民の祝日  
 本学開学記念日(6月1日)  
 年末年始(12月28日～1月4日)  
 臨時休館日(事前に掲示します)

#### …入退館

閲覧室入口の入館ゲートに学生証を差し込むと、ゲートが開きます。  
 荷物の持ち込みは自由です。

#### …貸出

資料は学生証で借りることができます。学部1年生は貸出冊数3冊で、貸出期間は14日間です。  
 その他の身分の方については、中央館利用案内でご確認ください。

#### …返却

期間内にカウンターに返却してください。図

書館閉館時は入口の返却ポストへ入れてください。

返却が遅れると、遅れた日数×冊数の期間次の貸出を受けられません。

#### …予約・更新

貸出中の図書について、次に借りる予約ができます。

また、借用中の資料の貸出期間の延長も、予約者がなければ1回限り可能です。(長期休業中の貸出は更新不可)

#### …OPAC <http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/opac/>

OPAC(オーパック)は図書館所蔵資料の検索システムです。館内のパソコンで利用できるほか、上記のアドレスで図書館以外からも利用できます。

この他にもレファレンスやCD-ROMデータベース検索システムなど、様々なサービスを利用できます。図書館のサービスが一覧できる附属図書館ホームページ(<http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/>)をご覧ください。

まずは一度図書館に足を運んでみましょう!

花 信 第7号 2000年3月31日[年2回発行]

編 集 花信編集委員会(菅原英一・金井忠彦・川西玲子・丸山恭子・野口眞澄)

発 行 信州大学附属図書館

〒390-8621 松本市旭3-1-1

TEL 0263(37)2174・FAX 0263(33)5833

URL:<http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/>

E-mail: [jja0141@gi.pac.shinshu-u.ac.jp](mailto:jja0141@gi.pac.shinshu-u.ac.jp)